

交 流 推 進 部

1. 部総括表

部名：交流推進部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
7-1	交流推進課	(60,206) 1,579,248	(53,226) 1,476,574	51,756	(6,980) 50,918	
7-2	観光振興課	(2,458,957) 10,399,489	(2,414,688) 6,957,119	2,402,983	(44,269) 1,039,387	
7-3	交通政策課	(602,771) 2,354,255	(505,883) 2,107,782	138,148	(96,888) 108,325	
7-4	県産品振興課	(13,068) 365,634	(7,922) 334,503		(5,146) 31,131	
	部計	(3,135,002) 14,698,626	(2,981,719) 10,875,978	2,592,887	(153,283) 1,229,761	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：交流推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-1-1	給与費	221,053	220,852		201	交流推進課職員の給与費 給料109,898、職員手当等69,799 共済費41,155
7-1-2	交流推進事務費	11,601	11,172		429	交流推進課の運営等に要する経費
7-1-3	県立公園等維持 管理事業	(6,834) 105,952	(5,720) 95,129	8,145	(1,114) 2,678	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-4	栗林公園特別会 計繰出金	156,974	123,576		33,398	一般会計から栗林公園特別会計へ 繰り出すもの
7-1-5	県立公園施設整 備事業	99,073	59,809	39,061	203	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-6	瀬戸大橋記念公 園管理運営等事 業	(19,745) 184,973	(18,583) 183,767		(1,162) 1,206	瀬戸大橋記念公園の管理運営に要する経 費のうち、瀬戸大橋記念公園施設整備事 業を主要施策の成果の概要(7-1-3)に 記載
7-1-7	坂出緩衝緑地管 理運営事業	79,252	73,022	3,850	2,380	坂出緩衝緑地の管理運営に要する経費の うち、坂出緩衝緑地施設整備事業を主要 施策の成果の概要(7-1-3)に記載
7-1-8	栗島海洋記念公 園管理運営事業	(33,627) 45,494	(28,923) 45,034		(4,704) 460	栗島海洋記念公園の管理運営に要する経 費のうち栗島海洋記念公園施設整備事 業を主要施策の成果の概要(7-1-3)に 記載
7-1-9	コンベンション 開催等による交 流推進事業	66,969	62,756	700	3,513	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-9)に記載
7-1-10	地域密着型ス ポーツ応援事業	67,672	67,217		455	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-9)に記載
7-1-11	サンポート高松 交流拠点施設等 管理事業	343,330	338,500		4,830	サンポート高松交流拠点施設等の 管理運営に要する経費
7-1-12	駐車場事業特別 会計繰出金	196,905	195,740		1,165	一般会計から駐車場特別会計へ繰 り出すもの
	課計	(60,206) 1,579,248	(53,226) 1,476,574	51,756	(6,980) 50,918	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：交流推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
交流推進課	[1] (8) 25	[5] 10	[6] (8) 35	市併執職員5名、育児休業2名
栗林公園観光事務所	14	11	25	育児休業1名
合計	[1] (8) 39	[5] 21	[6] (8) 60	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>県立公園施設整備等事業（7-1-3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>栗林公園については、本来の魅力である庭園美を生かし、春・秋のライトアップ等のイベントを開催するなどして、国内外からの来園者の満足度向上を図った。</p> <p>また、県立公園については、清掃、草刈りの日常の維持管理や施設改修・修繕を行い、快適で安全な公園環境を維持するとともに、より快適な公園を目指して施設整備等を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 栗林公園活性化事業（30,821千円 栗林公園特別会計）</p> <p>①南湖での和船周遊 船頭の解説を聞きながら約30分かけて南湖を一周する和船の運航を行った。</p> <p>②春・秋のライトアップ 秋のライトアップについては、期間中の夜間入園者数が令和3年度に次ぎ、歴代2位となった。</p> <p>③庭師のガイドツアー（ゼロ予算事業） 新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、令和4年度は5月、10月に実施した。</p> <p>(2) 県立公園等施設整備維持管理事業（245,070千円）</p> <p>①県立公園等維持管理事業（91,366千円） 県立公園における松くい虫薬剤防除やシロアリ対策などの維持管理等を行った。</p> <p>②県立公園施設整備事業（59,809千円） 栗林公園の偃月橋の改修、桃陵公園の遊歩道の補修等、琴平公園の駐車場改修等を行った。</p> <p>③瀬戸大橋記念公園施設整備事業（30,539千円） 藤棚を整備するとともに、新たな撮影スポットとなるアーチ型モニュメントを設置した。</p> <p>④坂出緩衝緑地施設整備事業（20,661千円） 番の州球場照明灯の改修を行った。</p> <p>⑤栗島海洋記念公園施設整備事業（40,722千円） 栗島海洋記念館本館の耐震改修に係る実施設計を行った。</p> <p>⑥栗林公園内事業者休業協力金（1,973千円） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により栗林公園を臨時休園したことに伴い、影響を受けた園内事業者に対して支援を行った。</p>	<p>令和4年度の栗林公園の入園者数は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、令和3年度比188.5%と増加した。</p> <p>入園者数（内訳：外国人入園者数）</p> <p>令和2年度 359,199人(3,592人)</p> <p>令和3年度 306,399人(2,944人)</p> <p>令和4年度 577,588人(29,423人)</p> <p>春・秋のライトアップ夜間入園者数</p> <p>令和4年 春 23,977人</p> <p>秋 32,099人</p> <p>和船の乗船者数</p> <p>令和2年度 13,306人</p> <p>令和3年度 9,698人</p> <p>令和4年度 22,525人</p> <p>県立公園について、効率的な維持管理及び計画的な施設整備や改修工事等ができた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>交流推進事業（7-1-9）</p> <p>1. 趣旨・概要 交流人口の拡大に向けて、コンベンションをはじめとするMICEやクルーズ客船の誘致、地域密着型スポーツチームの活用に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 (1) コンベンション開催等による交流推進事業 (62,756千円)</p> <p>①コンベンション開催等支援事業（13,951千円） 県内のコンベンション施設等を利用した国際会議、全国大会及び学会等を誘致したほか、サンポート高松におけるにぎわい創出のため、補助を行った。 (i) コンベンション等開催支援事業 県内で開催される国際会議、全国大会及び学会の誘致を促進するため、開催者に対し補助を行った。 (ii) サンポート高松交流推進事業 サンポート高松のにぎわい創出を目的として、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが行うサンポート高松にぎわい創出事業等について、補助を行った。</p> <p>②MICE誘致推進事業（6,789千円） 「香川県MICE誘致推進協議会」に負担金を拠出し、同協議会の取組みを通じて、MICE開催者への誘致活動、県内で開催するMICEの開催支援、MICE啓発セミナー等を実施したほか、G7サミット閣僚会合の誘致活動により、高松市での誘致に成功した。</p> <p>③クルーズ客船誘致推進事業（13,016千円） クルーズ客船の高松港への誘致を図るため、クルーズ船社等への誘致活動を行うとともに、寄港時の歓迎イベントを実施した。 (i) 誘致活動の実施 クルーズ船社や旅行代理店等を訪問し、高松港へのクルーズ客船の誘致に努めた。 (ii) 歓迎イベントの実施 クルーズ客船の寄港時に、郷土色豊かなアトラクション等を実施し、歓迎した。</p> <p>④サミット都市大臣会合開催支援事業（29,000千円） 「G7香川・高松都市大臣会合推進協議会」を設立し、開催に向けた準備や関連行事を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>MICEの参加者数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="941 313 1428 571"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,055人</td> <td>42,382人</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年度55,256人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>MICE開催件数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="941 649 1428 907"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23件</td> <td>111件</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年度171件)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度交付実績 6件 (国際会議3件、全国大会及び学会3件)</p> <p>クルーズ客船の高松港への寄港実績 令和4年度：5回（初寄港0回）</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	5,055人	42,382人	コロナ影響前の実績値(R元年度55,256人)まで速やかな回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	23件	111件	コロナ影響前の実績値(R元年度171件)まで速やかな回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
5,055人	42,382人	コロナ影響前の実績値(R元年度55,256人)まで速やかな回復を図る											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
23件	111件	コロナ影響前の実績値(R元年度171件)まで速やかな回復を図る											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(2) 地域密着型スポーツ応援事業 (67,217 千円)</p> <p>①香川プロスポーツサポート事業 (36,900 千円)</p> <p>県と17市町で構成する「香川県地域密着型スポーツ活用協議会」に負担金を拠出し、地域密着型スポーツチームの地域に根差した活動の促進を図った。</p> <p>(i) 交流事業</p> <p>各種スポーツ教室やイベントへの選手派遣を行ったほか、試合会場における地域特産品のPRや住民の招待等を行うホームタウンデーの開催、選手が市町の魅力発信に取り組む「スポーツで香川を元気にし隊事業」等を実施した。</p> <p>(ii) 情報発信事業</p> <p>主要駅にチームの横断幕やポスターを掲出するなど街中でPRに努めるとともに、アウェイ客に対し来場記念品の提供を行った。また、チームが遠征先で実施した本県をPRする活動に対して補助を行った。</p> <p>(iii) 応援機運醸成事業</p> <p>公式戦の施設使用料やシャトルバスの運行経費に対する助成や、中四国のJリーグチームの自治体との連携イベントを実施した。</p> <p>②地域密着型スポーツ魅力向上事業 (29,736 千円)</p> <p>様々な地域資源を活用したイベントや情報発信により、試合観戦の魅力向上と観戦機運の醸成に努めるとともに、ファンと選手との交流などを通じて球団の魅力発信に取り組んだ。</p> <p>③イベント開催による交流推進事業 (581 千円)</p> <p>地域密着型スポーツチームを活用した本県のPRを行うほか、四国4県連携による優秀選手表彰などにより、地域密着型スポーツチームの認知度向上に努めた。</p>	<p>各チーム合計の観客動員数 令和4年シーズン：57,870人</p> <p>選手派遣実績 令和4年度：19件</p> <p>ホームタウンデー開催実績 令和4年度：21試合(8市5町)</p>

2. 課総括表

課名：観光振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-2-1	戦略的観光情報発信事業	56,738	54,124		2,614	主要施策の成果の概要 (7-2-1)に記載
7-2-2	観光施設等情報環境維持管理事業	1,475	977		498	県有の観光施設や交通施設に設置したWi-Fiスポットの維持管理及び広報に要する経費
7-2-3	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業	(2,443,905) 9,731,951	(2,402,387) 6,338,947	2,402,983	(41,518) 990,021	主要施策の成果の概要 (7-2-3)に記載
7-2-4	滞在型観光推進事業	32,547	31,287		1,260	主要施策の成果の概要 (7-2-4)に記載
7-2-5	魅力ある観光地づくり推進事業	14,719	14,675		44	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5)に記載
7-2-6	国際観光推進事業	260,493	220,654		39,839	主要施策の成果の概要(7-2-6)に記載 国際観光推進事業のうち、外国人観光案内所運営事業、外国人観光客受入環境向上事業を主要施策の成果の概要(7-2-5)に記載
7-2-7	癒しの四国観光推進事業	39,228	39,228			広域観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-7)に記載
7-2-8	観光振興対策推進事業	18,085	17,494		591	(公社)香川県観光協会への人的・財政的支援に要する経費
7-2-9	他県連携事業	3,176	2,569		607	観光誘客について、連携を図っている岡山県との観光PR活動に要する経費
7-2-10	瀬戸内ブランド推進事業	26,171	25,962		209	広域観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-7)に記載
7-2-11	給与費	191,459	191,194		265	観光振興課職員の給与費等 給料95,643、職員手当等59,811、共済費35,740
7-2-12	観光事務費	3,595	3,587		8	観光振興課の運営等に要する経費
7-2-13	観光客の利便性・満足度向上事業	(15,052) 19,852	(12,301) 16,421		(2,751) 3,431	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5)に記載
	課計	(2,458,957) 10,399,489	(2,414,688) 6,957,119	2,402,983	(44,269) 1,039,387	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：観光振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
観光振興課	[3] (4) 25	[1] 4	[4] (4) 29	(公社)香川県観光協会派遣1名 (一社)せとうち観光推進機構派遣1名 (一社)四国ツーリズム創造機構派遣1名 市町併執職員1名 育児休業2名
合計	[3] (4) 25	[1] 4	[4] (4) 29	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>戦略的観光情報発信事業（7-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 旅行先や購入先として「選ばれる香川」を目指し、本県の認知度及びブランド力の向上に継続的に取り組むとともに、首都圏などを中心とした県外市場に向けて効果的な情報発信を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) うどん県アート県ブランドプロモーション事業 (23,429千円) 本県の認知度やブランド力の向上を図るため、テレビ、雑誌等、各種媒体に本県のコンテンツが取り上げられるようパブリシティ活動を行うとともに、企業と連携したPRや雑誌での広告等による情報発信を行った。</p> <p>(2) デジタルマーケティング観光誘客推進事業 (24,300千円) SNSを中心に本県をPRする動画等を配信し、広告から香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」や旅行予約サイトへの誘導や、サイト閲覧者の情報を分析することでより効果的な広告配信を行い、誘客促進を図った。</p> <p>(3) ウェブ観光情報発信事業（6,395千円） 本県への誘客促進を図るため、観光スポット、地元グルメ、アクセスなど旅行者等が必要とする旬できめ細かな観光情報を香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」で提供した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県外観光客数（暦年）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 311 1410 551"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,184</td> <td>7,770</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>パブリシティ活動 WEB・新聞等：掲載件数 417 件 テレビPR：4本 約 150 分</p> <p>SNS フォロワー数 Twitter：15,452 人 Instagram：30,167 人 Facebook：5,711 人</p> <p>「うどん県旅ネット」アクセス数 (ページビュー数)：年間 7,011,010 件</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	6,184	7,770	コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
6,184	7,770	コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価														
<p>「うどん県。それだけじゃない 香川県」誘客促進事業（7-2-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内全域に観光客の誘致を図るため、琴平、栗林公園、屋島、小豆島といった老舗観光地を中心に、イベントや情報発信などを行う誘客キャンペーンを実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 老舗観光地等誘客促進事業（1,000千円） 観光パンフレットの作成等により、老舗観光地をはじめとする県内観光地の情報発信を行った。 (2) 旅行商品誘客促進事業（2,823千円） 本県への誘客促進を図るため、県内での宿泊を伴うバスツアーの造成経費の一部を助成した。 (3) サイクリング誘客促進事業（1,786千円） サイクリストの誘致を図るため、基幹ルート及び地域ルートを掲載した全県版パンフレットと、エリア（東讃・小豆・高松・中讃・西讃）ごとのパンフレットを配布するとともに、サイクルオアシス（休憩所）の整備に対し補助するなど、サイクリストの受入環境を整備した。 (4) 国内線（成田線）誘客促進事業（12,148千円） ジェットスター・ジャパン（株）と連携し、高松-成田線の主なターゲットである若者層向けに観光情報を発信するなど、本県の認知度を高め、訪問意欲を向上させる取組みを行った。 (5) 県内宿泊等促進事業（3,918,803千円） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、落ち込んだ旅行需要を喚起するため、本県への旅行に対する助成を行うとともに、土産物店、観光施設等で利用可能なクーポンを発行し、観光関連消費の喚起を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県外観光客数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 315 1410 551"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,184</td> <td>7,770</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>延宿泊者数（暦年）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 629 1410 864"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,529</td> <td>3,240</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年4,659千人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>助成件数・送客実績 受注型バスツアー：93件・5,331人</p> <p>サイクルオアシス補助件数：1箇所</p> <p>ジェットスター利用者数：218,337人</p> <p>新うどん県泊まってかがわ割（全国旅行支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：R4/10/11～R5/10/31 ・対象：全国（47都道府県） ・利用宿泊数：496,970人泊・人 (※R4決算数値) 			基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	6,184	7,770	コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	2,529	3,240	コロナ影響前の実績値(R元年4,659千人)まで速やかな回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)													
6,184	7,770	コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る													
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)													
2,529	3,240	コロナ影響前の実績値(R元年4,659千人)まで速やかな回復を図る													

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>滞在型観光推進事業（7-2-4）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>観光圏整備法に基づき認定を受けた「香川せとうちアート観光圏」において、本県への誘客・滞在につなげるため、市町や市町観光協会、観光事業者などと連携し、圏域での周遊・連泊の促進や、来訪者への情報発信を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川せとうちアート観光圏滞在促進事業 (7,644千円)</p> <p>①体験型旅行商品の造成・農泊推進</p> <p>観光コンテンツの造成及び農泊の推進に関するワーキンググループを設置し、観光客の滞在を促進するコンテンツの造成に向けた検討や農泊推進のための広報等を行った。</p> <p>②観光地域づくりに資する人材の育成</p> <p>地域の観光振興を担う人材として、観光庁が認定する「観光地域づくりマネージャー」のステップアップ研修に本県のマネージャーを派遣するとともに、新たに1名が育成セミナーを修了し、マネージャーの認定を受けた。</p> <p>(2) 魅力あるコンテンツ造成支援事業（7,402千円）</p> <p>市町や民間事業者等が行う、地域の資源を活用した魅力ある観光コンテンツの新規造成や磨き上げに要する経費の一部を補助した。</p> <p>(3) 新しい観光スタイル推進事業（10,330千円）</p> <p>個人旅行の加速化など、変化する観光ニーズに対応するため、オンライントラベルエージェントと連携し、体験型旅行商品の造成、販売強化を行った。</p> <p>(4) 航空会社等と連携したワーケーション誘客事業 (2,000千円)</p> <p>香川県でのワーケーションを促進するため、航空会社と連携し、ワーケーション商品の造成等を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県外観光客数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 315 1410 551"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,184</td> <td>7,770</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 629 1410 864"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,529</td> <td>3,240</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年4,659千人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>県外観光客観光消費金額（暦年） (億円)</p> <table border="1" data-bbox="927 987 1410 1223"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>683</td> <td>1,077</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年1,185億円)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>補助件数：9件 補助対象事業の延べ来場者数：約28,337人</p> <p>商品造成数：13商品 造成した商品の購入者数：138人</p> <p>ANA 実施期間：R4.7.4-R5.3.31 販売実績：81人 JAL 実施期間：R4.10.26-R5.3.31 販売実績：160人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	6,184	7,770	コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	2,529	3,240	コロナ影響前の実績値(R元年4,659千人)まで速やかな回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	683	1,077	コロナ影響前の実績値(R元年1,185億円)まで速やかな回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
6,184	7,770	コロナ影響前の実績値(R元年9,687千人)まで速やかな回復を図る																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
2,529	3,240	コロナ影響前の実績値(R元年4,659千人)まで速やかな回復を図る																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
683	1,077	コロナ影響前の実績値(R元年1,185億円)まで速やかな回復を図る																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(5) 弘法大師空海御誕生 1250 年祭を活用した誘客促進事業 (3,911 千円)</p> <p>弘法大師空海御誕生 1250 年祭にあわせ、総本山善通寺を中心に実施された各種関連イベントへの支援や、情報発信を行った。</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>観光客受入態勢整備事業（7-2-5）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>本県を訪れる観光客の満足度と利便性の向上を図るため、おもてなし力の向上や、魅力ある観光情報の提供、Wi-Fi スポットの整備など、観光客の受入態勢の充実・強化を行った。</p> <p>また、魅力ある観光地づくりを推進するため、観光香川おもてなし運動を推進し、全県的なおもてなしの機運の醸成を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 外国人観光案内所運営事業（17,707千円）</p> <p>日本人観光客に加え、来訪する外国人観光客の利便性の向上等を図るため、多言語（英語、中国語、韓国語）にて対応し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、周辺地域の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供する観光案内所業務を、JR高松駅及び高松空港において実施した。</p> <p>(2) 外国人観光客受入環境向上事業（5,035千円）</p> <p>外国人観光客の受入再開に向け、多言語コールセンターの運営による県内の観光施設、宿泊施設、飲食店等への多言語通訳・翻訳サービスの支援、地域通訳案内士や県内事業者を対象とする講習会などを行った。</p> <p>(3) 魅力ある観光地づくり推進事業（14,675千円）</p> <p>県と市町、観光協会等が連携して、地域資源の掘り起こしや「まち歩き」を推進するための「てくてく通信」の発行、観光実態調査などを実施するとともに、全県的なおもてなし運動を展開し、タクシー乗務員や観光業務従事者向けに「おもてなし研修会」を開催するなど、観光客の満足度の向上を図り、魅力ある観光地づくりを推進した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県外観光客数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 315 1410 551"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,184</td> <td>7,770</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元年 9,687千人) まで速やかな 回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 633 1410 869"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,529</td> <td>3,240</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元年 4,659千人) まで速やかな 回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>外国人延宿泊者数（暦年）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 952 1410 1187"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81</td> <td>34</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元年 772千人) まで速やかな 回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>多言語通訳・翻訳コールセンターの利用状況：登録事業者数：39件、3月末までの利用実績：通訳26件、翻訳164件</p> <p>地域観光ガイド育成研修 ：7回 延べ36人参加</p> <p>おもてなし研修会 ：11回 延べ138人参加</p> <p>まち歩きツアー（春・秋） ：152コース 延べ9,746人参加</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	6,184	7,770	コロナ影響前 の実績値(R元年 9,687千人) まで速やかな 回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	2,529	3,240	コロナ影響前 の実績値(R元年 4,659千人) まで速やかな 回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	81	34	コロナ影響前 の実績値(R元年 772千人) まで速やかな 回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
6,184	7,770	コロナ影響前 の実績値(R元年 9,687千人) まで速やかな 回復を図る																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
2,529	3,240	コロナ影響前 の実績値(R元年 4,659千人) まで速やかな 回復を図る																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
81	34	コロナ影響前 の実績値(R元年 772千人) まで速やかな 回復を図る																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(4) 観光客の利便性・満足度向上事業 (4,120 千円)</p> <p>①観光パスポートの発行 県内観光地の周遊・滞在を促進するため、周遊スタンプラリーや連泊キャンペーン、県内飲食店等における消費拡大のためのクーポンの企画などを掲載した観光パスポート(「うどん県おもてなしパスポート」)を増刷した。</p> <p>②観光施設等のトイレの洋式化 観光施設等のトイレの洋式化を推進するため、その整備に要する経費の一部を助成した。</p>	<p>発行部数：47,000 部</p> <p>補助施設数：2 施設</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>国際観光推進事業（7-2-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 今後の外国人観光客の受入再開に向けて、観光香川の魅力を海外に向けて情報発信するとともに、オンライン上での商談会などの実施や、受入環境の向上に努めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) ビジット香川誘客重点促進事業（194,696千円）</p> <p>①中国 今後の中国市場からのインバウンドの受入再開に向け、公式SNS（微博、微信）や上海春秋旅行社と連携したライブ中継による情報発信、中国の旅行会社の招請などを行った。</p> <p>②韓国 今後の韓国市場からのインバウンドの受入再開に向け、公式SNS（インスタグラム）やブログ、新聞や旅行雑誌等の各種メディアを活用した継続的な情報発信や、韓国コーヒーショップでの観光PRイベントなどを行った。</p> <p>③台湾 今後の台湾市場からのインバウンドの受入再開に向け、公式SNS（フェイスブック、インスタグラム）やインフルエンサーを活用した継続的な情報発信、県内観光事業者と現地旅行会社との商談会や観光セミナーの実施、「台北国際旅行博」等への出展などを行った。</p> <p>④香港 今後の香港及び中国・珠江デルタエリアからのインバウンドの受入再開に向け、公式SNS（フェイスブック、インスタグラム）や各種メディアを活用した継続的な情報発信、香港ショッピングモールでの消費者向けイベントなどを行った。</p> <p>⑤その他 (一社)せとうち観光推進機構や(一社)四国ツーリズム創造機構、近隣県と連携し、国庫補助事業を活用するなどして、旅行会社への商品造成の働きかけや旅行雑誌による情報発信などを行った。</p>	<p>3. 指標 外国人延宿泊者数(暦年)(再掲)(千人)</p> <table border="1" data-bbox="927 315 1406 551"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81</td> <td>34</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元年 772千人) まで速やかな 回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年外国人延宿泊者数(従業者数10人以上の施設) (中国): 1,770人泊(前年比1.8倍)</p> <p>令和4年外国人延宿泊者数(従業者数10人以上の施設) (韓国): 4,870人泊(前年比15.7倍)</p> <p>令和4年外国人延宿泊者数(従業者数10人以上の施設) (台湾): 2,350人泊(前年比23.5倍)</p> <p>令和4年外国人延宿泊者数(従業者数10人以上の施設) (香港): 2,850人泊(前年比71.3倍)</p> <p>令和4年外国人延宿泊者数(従業者数10人以上の施設) (アメリカ): 2,200人泊(前年比8.8倍) (フランス): 670人泊(前年比4.8倍) (オーストラリア): 640人泊(前年比16倍)</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	81	34	コロナ影響前 の実績値(R元年 772千人) まで速やかな 回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
81	34	コロナ影響前 の実績値(R元年 772千人) まで速やかな 回復を図る					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(2) 国際イベント等を活用した誘客対策事業 (3,216 千円) 欧米豪のメディアに向けた瀬戸内国際芸術祭 2022 などの観光情報の発信や旅行会社との商談会への参加、旅行会社の招請などを行った。</p> <p>(3) 外国人観光案内所運営事業 (17,707 千円) (再掲)</p> <p>(4) 外国人観光客受入環境向上事業 (5,035 千円) (再掲)</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>広域観光推進事業（7-2-7）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>激化する地域間競争に打ち勝つとともに、域内交流を活発にするため、四国4県と民間事業者などで構成する（一社）四国ツーリズム創造機構と連携し、四国の観光情報の発信や誘客を行うなど、観光の広域化を図った。</p> <p>「瀬戸内ブランド推進事業」では、瀬戸内海に面する7県（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）や民間事業者などで構成する（一社）せとうち観光推進機構と連携し、瀬戸内の魅力を観光資源としてブランド化し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、国内外への情報発信や瀬戸内の魅力を体感する環境整備等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 癒しの四国観光推進事業（39,228千円）</p> <p>①ブランディング戦略</p> <p>2年ぶりに開催された総合観光イベントである「ツーリズムEXPOジャパン2022」での情報発信を行った。</p> <p>また、国際的な認証団体グリーン・DESTINATIONSが実施する「世界の持続可能な観光地TOP100選」に、2年連続で小豆島町が選出された。</p> <p>②マーケティング戦略</p> <p>航空会社とのタイアップキャンペーンの実施や、四国版観光アプリ「しこくるり」の機能改修を実施し、利便性向上を図った。</p> <p>また、首都圏・関西圏の旅行会社・運輸会社等を対象に四国観光商談会を開催した。</p> <p>(2) 瀬戸内ブランド推進事業（25,962千円）</p> <p>①瀬戸内ブランド実態調査</p> <p>欧米豪市場における瀬戸内の認知度、来訪意向度等や、国内旅行者における旅行の趣向や地域別来訪体験等について調査した。</p> <p>②着地整備戦略</p> <p>欧米豪からの旅行者をターゲットにした、広域ガイドを活用するコンテンツ造成等を行った。</p> <p>国内向けには、旅行者の新たなニーズに対応した地域特性のある体験・滞在型のコンテンツ等の企画開発等を行い、OTAの市場に流通させることで地域の観光消費を促した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県外観光客数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 315 1410 551"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,184</td> <td>7,770</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元年 9,687千人) まで速やかな 回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人）</p> <table border="1" data-bbox="927 633 1410 869"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,529</td> <td>3,240</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元年 4,659千人) まで速やかな 回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>JALによる「JAL麗らか四国キャンペーン」誘客実績数：延べ12,929人 ANAによる「ANA誘遊四国キャンペーン」誘客実績数：延べ1,343人</p> <p>体験・滞在プログラム造成件数：91件 体験・滞在プログラム参加者：10,998人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	6,184	7,770	コロナ影響前 の実績値(R元年 9,687千人) まで速やかな 回復を図る	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	2,529	3,240	コロナ影響前 の実績値(R元年 4,659千人) まで速やかな 回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
6,184	7,770	コロナ影響前 の実績値(R元年 9,687千人) まで速やかな 回復を図る											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
2,529	3,240	コロナ影響前 の実績値(R元年 4,659千人) まで速やかな 回復を図る											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>③誘客戦略</p> <p>送客力がある欧米豪の現地旅行会社等を招請したFAMツアーの実施や、WEBサイト・SNS等を活用した情報発信を行った。</p> <p>世界から大きな注目を集めるG7広島サミットを契機に、瀬戸内海を囲む7県知事が一堂に会する「せとうち7サミット」を開催し、せとうちの魅力を国内外にPRした。</p> <p>④エリアマネジメント</p> <p>持続可能な観光地づくりについて、各地域での取組みが推進できるよう関係者と情報共有を実施したほか、講演会・セミナーを開催し、瀬戸内地域での観光活性化の醸成を図った。</p>	SNS閲覧件数：延べ247万件

2. 課総括表

課名：交通政策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-3-1	運輸事業振興助成費	599,227	591,405		7,822	軽油引取税の一部を関係団体に交付するために要する経費
7-3-2	交通政策課運営費	139,683	139,625		58	交通政策課の運営に要する経費 給料69,020、職員手当等41,487 共済費25,668
7-3-3	地域公共交通確保維持改善事業等	(505,472) 1,260,647	(478,142) 1,179,132	51,702	(27,330) 29,813	主要施策の成果の概要 (7-3-3)に記載
7-3-4	瀬戸大橋関連事業費等	18,561	17,487		1,074	主要施策の成果の概要 (7-3-4)に記載
7-3-5	高松空港振興対策事業	(97,299) 336,137	(27,741) 180,133	86,446	(69,558) 69,558	主要施策の成果の概要 (7-3-5)に記載
	課計	(602,771) 2,354,255	(505,883) 2,107,782	138,148	(96,888) 108,325	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：交通政策課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
交通政策課	(4) 18	1	(4) 19	
合計	(4) 18	1	(4) 19	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>地域公共交通確保維持改善事業等（7-3-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 利便性と結節性に優れた県全体の地域公共交通ネットワークの構築に向けて、鉄道の安全性向上、生活交通路線バスや離島航路の維持確保などに取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 地域公共交通確保維持事業（399,033千円） ①バス運行対策費等補助事業 (i) 地域間幹線系統確保維持費等補助（111,605千円） ・路線維持費補助 4事業者 17系統 ・車両減価償却費等補助 4事業者 37台 (ii) 準幹線系統確保維持費等補助（60,942千円） ・路線維持費補助 5市3町 39系統 ②離島航路運営費等補助（225,486千円） ・国指定 7事業者 7航路 ③UDタクシー普及促進モデル事業（1,000千円） ・4事業者 5台 (2) 地域公共交通特別支援事業（761,953千円） ①鉄道施設老朽化対策事業（32,112千円） 鉄道施設の倒壊等による被害の未然防止のため、四国旅客鉄道株が実施した施設の長寿命化に資する改良事業に対し補助を行った。 ②ことடன்沿線地域公共交通総合連携計画推進事業（2,988千円） 高松琴平電気鉄道株が行うことடன்太田・仏生山駅間の新駅整備に対し補助を行った。 ③鉄道災害復旧事業（236,404千円） 平成29年台風18号により被災した護岸を復旧するために四国旅客鉄道(株)が実施した事業に対し補助を行った。 ④公共交通利用回復緊急支援事業等（239,754千円） 県内公共交通等の利用回復を緊急的に支援するため、公共交通事業者等が実施する新しい生活様式に対応するための取組み等に要する経費に対して補助を行った。また、バス、タクシー、運転代行事業者に対して、車両数に応じた給付金を給付した。 ⑤公共交通等燃料高騰・利用回復対策支援事業（250,695千円） 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に加え、燃料高騰により経営環境が厳しくなっている公共交通事業者等の、安全・安心な運行の継続や利用回復に向けた取組みに要する経費に対して補助を行った。また、バス、タクシー、運転代行事業者に対し</p>	<p>3. 指標 主な公共交通機関利用者数（千人）</p> <table border="1" data-bbox="941 313 1420 571"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,185</td> <td>31,306</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年度38,224千人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域公共交通確保維持改善協議会等において策定された生活交通確保維持改善計画等に対する支援を行い、地域公共交通の確保・維持が図られた。</p> <p>鉄道施設の老朽化による倒壊等による被害の未然防止が図られた。</p> <p>利用者拡大等に向け、新駅の整備を進めた。</p> <p>被災した護岸工事について復旧事業が進められ、令和4年度で完了した。</p> <p>補助件数（新しい生活様式に対応するための取組み等に要する経費に対する補助）：3件 給付件数（車両数に応じた給付金）：232件</p> <p>補助件数（安全・安心な運行の継続や利用回復に向けた取組み等に要する経費に対する補助及び定期旅客船事業者への補助）：10件 給付件数（車両数に応じた給付金）：230件</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	31,185	31,306	コロナ影響前の実績値(R元年度38,224千人)まで速やかな回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
31,185	31,306	コロナ影響前の実績値(R元年度38,224千人)まで速やかな回復を図る					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>て、車両数に応じた給付金を給付したほか、定期旅客船事業者に対し、係船料相当額の支援を行った。</p> <p>(3) 国際コンテナ貨物集荷促進事業 (4,884 千円) 荷主及び船社等に対するポートセールスや広報活動を行うとともに、新規・大口荷主への助成を行った。</p> <p>(4) 公共交通機関調査検討事業 (13,262 千円)</p> <p>①地域交通ネットワークの充実・強化 交通需要予測調査の実施や、公共交通機関利用促進のための県民への情報提供、専門家等による協議会や先進事例の勉強会の開催等を行った。</p> <p>②四国の新幹線整備啓発事業 四国4県の行政や議会、経済界で連携し、四国の新幹線導入に向けた機運醸成のため、勉強会やイベント、パネル展等を開催した。また、「四国新幹線整備促進期成会」において、SNSを活用した情報発信などの普及啓発活動に取り組んだほか、国等に対して、整備計画格上げに向けた調査を行うよう要望した。</p> <p>③国等への要望 新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい経営状況に置かれている公共交通事業者の事業継続のための支援を講じることや、鉄道、バス、フェリー等の公共交通に対し、事業者の実情を踏まえた支援を行うこと、また、特に離島航路の存続に向けて、支援制度の拡充・創設や十分な財源の確保を国に対して要望した。</p>	<p>ポートセールス訪問企業 62 社 助成件数：51 件</p> <p>機運醸成イベント等の開催や要望活動等により、四国の新幹線の実現に関する理解促進が図られた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>瀬戸大橋関連事業費等（7-3-4）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>平成26年度から全国共通水準料金の導入が実現したことで、関係自治体との連携を強化し利用促進に取り組むとともに、島しょ部関連事業、与島第二駐車場の維持管理等を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 島しょ部交通対策等事業（15,082千円）</p> <p>瀬戸大橋関連島しょ部の活性化を図るため、坂出市が実施する島民及び路線バスの瀬戸大橋通行料金軽減対策に対し、補助を行った。</p> <p>①島民の通行料金軽減対策費補助</p> <p>本州四国連絡高速道路㈱が35%、坂出市が45%を負担し、県は坂出市に対して負担額の1/2を補助した。</p> <p>・市事業費：24,358千円、県補助額：12,179千円</p> <p>②瀬戸大橋路線バスの通行料金軽減対策費補助</p> <p>本州四国連絡高速道路㈱が30%割引を実施、坂出市は割引後の通行料金相当額を負担し、県は坂出市に対して負担額の1/2を補助した。</p> <p>・市事業費：5,807千円、県補助額：2,903千円</p> <p>(2) 瀬戸大橋関連事業費（2,297千円）</p> <p>与島第二駐車場の維持管理を行った。</p>	<p>島民の通行料金軽減や瀬戸大橋路線バスの運行維持など、島民の交通手段確保が図られた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>高松空港振興対策事業（7-3-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 香川県の経済の活性化や拠点機能の向上のため、高松空港における国内路線網及び国際路線網の維持拡充や施設整備を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 航空ネットワーク振興対策事業（90,056千円） 県民全体の交通利便性の確保や地域間の経済・文化交流の手段としての航空ネットワークを維持、拡充させるため、既設路線の路線PRや利用促進など、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、以下の事業に対して、経費の負担等を行った。</p> <p>①広報・要望活動等 高松空港時刻表の作成・配布等の広報活動を行うとともに、国に対し、航行援助施設使用料の引下げ等の要望を行った。</p> <p>②東京(羽田・成田)線 羽田線においては、高松中央商店街での懸垂幕広告等による路線PRや、東京都内において、県の観光地や瀬戸内国際芸術祭 2022 の情報発信等を実施した。成田線においては、若年層をターゲットとしたWeb広告等による利用促進や、県内専門学校でのイベント等を活用した路線PRに努めた。</p> <p>③那覇線 県内大型ショッピングセンターでの路線PRキャンペーンやレンタカー料金のサポートキャンペーン等を実施し、利用促進等に努めた。</p> <p>④国際線 早期の需要回復を目的に、県内外でのテレビCMの放映や新聞、雑誌、WEBを活用した運航再開の情報発信を行ったほか、定期路線を利用した旅行商品の造成・販促に対する支援を行うとともに、消費者向けの各種キャンペーンなどの利用促進策を積極的に実施した。</p> <p>(2) 直轄空港整備費負担金（90,077千円） 国管理空港である高松空港において国が行う整備事業に要する経費の一部について、空港法第6条による負担を行った。</p>	<p>3. 指標 定期航空路線利用者数（万人）</p> <table border="1" data-bbox="941 313 1428 571"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41</td> <td>133</td> <td>コロナ影響前の実績値(R元年度199万人)まで速やかな回復を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>国内線の利用者数について、羽田線は、前年度比 207.7%の 1,025,707 人、成田線は、前年度比 156.5%の 218,337 人、那覇線は、前年度比 466.7%の 65,067 人となった。</p> <p>国際線の利用者数について、ソウル線は 20,881 人 (R4.11.23 より週 3 便で運航再開、R5.3.26 より週 7 便に増便)、台北線は 9,839 人 (R5.1.19 より運航再開)、香港線 (※) は 6,508 人 (R5.1.22 より運航再開) となった。 ※香港の旅行会社によるインバウンドチャーター形式</p> <p>滑走路端安全区域 (RESA) 整備に向けて、用地買収及び本体工事着手に向けた工事用道路の工事に着手した。</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	41	133	コロナ影響前の実績値(R元年度199万人)まで速やかな回復を図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
41	133	コロナ影響前の実績値(R元年度199万人)まで速やかな回復を図る					

2. 課総括表

課名：県産品振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-4-1	給与費	114,207	114,105		102	県産品振興課職員の給与費 給料59,373、職員手当等34,703 共済費20,029
7-4-2	県産品振興事務費	5,601	4,626		975	県産品振興事業推進のために要する経費
7-4-3	香川印戦略的販路拡大事業等	82,803	62,927		19,876	主要施策の成果の概要 (7-4-3)に記載
7-4-4	県産品海外輸出戦略協議会運営費	117	67		50	関係団体等との県産品認知度向上と販路拡大に関する情報交換及び輸出課題の検討会に要する経費
7-4-5	地場産品・伝統的工芸品等のブランド力強化・販路拡大事業	13,362	12,687		675	主要施策の成果の概要 (7-4-5)に記載
7-4-6	「かがわの食」Happyプロジェクト事業	35,894	33,204		2,690	主要施策の成果の概要 (7-4-6)に記載
7-4-7	全国年明けうどん大会開催事業	33,112	32,309		803	主要施策の成果の概要 (7-4-7)に記載
7-4-8	香川県産品アンテナショップ機能強化事業	(13,068) 28,538	(7,922) 22,715		(5,146) 5,823	主要施策の成果の概要 (7-4-8)に記載
7-4-9	東京アンテナショップ運営事業	51,441	51,369		72	主要施策の成果の概要 (7-4-9)に記載
7-4-10	高松空港ビル等県産品PR事業	559	494		65	高松空港ビルにおける県産品PRコーナーの運営に要する経費
	課計	(13,068) 365,634	(7,922) 334,503		(5,146) 31,131	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：県産品振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
県産品振興課	(20) 14	1	(20) 15	(一財) かがわ県産品振興機構派遣1名
合計	(20) 14	1	(20) 15	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>香川印戦略的販路拡大事業等（7-4-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 国内の首都圏等の大消費地や、近隣アジア諸国などの海外市場をターゲットに、総合的な情報発信や販売活動を行い、県産品のブランド力の強化と戦略的な販路開拓・拡大を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県産品販路拡大推進事業（38,367千円） 首都圏や関西圏の大消費地をターゲットに、百貨店等での香川県フェアの開催や、卸・仲卸業者が有する販売ルートの活用により、量販店やレストランへの販路拡大を図るとともに、首都圏百貨店でのギフトカタログ等を活用するなど、多様な販売チャンネルの確保に努めた。 また、首都圏等のレストランシェフ・バイヤー等を対象とした試食会の開催などにより、香川の優れた食材の積極的な情報発信を行った。</p> <p>(2) 海外販路開拓推進事業（16,559千円） 近隣アジア諸国等をターゲットに、国・地域ごとの輸入制度等に応じて選定した輸出品目について、現地百貨店等でのフェアの開催等を通じて認知度の向上に努めるとともに、現地企業による代理営業の活用等により、輸出入業者や関係団体との連携を強化し、継続的な販売促進と新たな販路の開拓に取り組んだ。 また、民間企業と連携し、シンガポール向けに冷蔵コンテナの試験輸送を行った。</p> <p>(3) 県産品情報発信強化事業（4,559千円） 県産品ポータルサイト「LOVEさぬきさん」を活用し、県産品の魅力を写真や動画、SNSなどでタイムリーに伝えた。</p> <p>(4) 香川県産オリーブ関連商品認証事業（1,497千円） 県産オリーブ関連商品のブランド力の強化とイメージ向上を図るため、県産オリーブを使用した、県内事業者による農林水産物や食品、工芸品等のオリーブ関連商品を認証するとともに、認証商品をPRするフェアを開催した。</p> <p>(5) 県産品コンクール開催事業（1,945千円） 県産品の商品開発を促進するとともに、香川県を代表する県産品の掘り起こしを行ったほか、20周年を記念し、入選産品を集めたPR冊子制作や販売フェアを実施した。</p>	<p>3. 指標 県産品の国内販売額（県サポート実績）（再掲）（千円）</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1410 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,004,239</td> <td>1,948,601</td> <td>2,364,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>百貨店等フェア開催店舗数 令和2年度実績：延べ148店 令和3年度実績：延べ65店 令和4年度実績：延べ128店</p> <p>レストランフェア開催店舗数 令和2年度実績：4店 令和3年度実績：7店 令和4年度実績：12店</p> <p>海外でのフェア・商談会等開催回数 令和2年度実績：19回 令和3年度実績：25回 令和4年度実績：31回</p> <p>サイトアクセス数 令和2年度実績：818,544PV 令和3年度実績：931,187PV 令和4年度実績：845,600PV</p> <p>認証商品数：245商品（77事業者）</p> <p>応募数：111品（令和3年度106品） 受賞数：知事賞4品、優秀賞4品 20周年記念入選産品販売フェア：県内量販店等6カ所で開催</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	2,004,239	1,948,601	2,364,000
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
2,004,239	1,948,601	2,364,000					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>「かがわの食」Happy プロジェクト事業（7-4-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 食をテーマとしたイベントやフェアの開催、食のアンテナショップなどによる情報発信等を通じて、県民や観光客に対して、県産品の認知度向上と販売促進を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 観光客「かがわの食」プロモーション事業 (5,382 千円) ① 県産品販売施設情報発信事業 県産品の購入等ができる施設等を紹介した多言語のデジタルパンフレットを作成し、外国人観光客への販売促進を図った。 ② 「かがわの食」飲食店プロモーション事業 県内の飲食店と連携し、オリーブ食材や地魚等を使った各店お薦めメニューを提供した。 (2) 県民「かがわの食」プロモーション事業 (27,822 千円) ① さぬきマルシェ事業 県産食材や加工品の生産者が消費者に対面で販売するマルシェ（欧風市場）の開催を支援し、魅力ある香川の「食」の情報発信を行った。 ② うまいもん出前講座事業 オリーブやオリーブ牛などの品目ごとに、生産者や販売業者等で構成される「うまいもん広め隊」を9隊結成し、小中高等学校、特別支援学校への出前講座を通じた県産食材のPRを行った。 ③ レストラン・飲食店連携事業 県産食材を使用した幅広い料理を提供する情報発信力の高いレストラン「さぬきダイニング」を活用した情報発信を行った。 ④ 情報発信事業 県内のマスメディア等と連携し、県産食材の魅力や食の事業等の情報発信を行うことにより、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。 ⑤ 食事業連携事業 業界団体と連携し、「年明けうどん」の普及に向けたPRを行うとともに、民間団体等が行う商品開発や販売手法等を活用して、香川の食を広くPRした。 ⑥ 民間事業者連携事業 県内の飲食店や量販店等と連携し、県産食材を活用した商品を開発し販売することにより、県産食材の認知度向上と消費拡大を図った。</p>	<p>3. 指標 県産品の認知度（重点産品）（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1401 472"> <thead> <tr> <th>基準値 （R2）</th> <th>実績値 （R4）</th> <th>目標値 （R7）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24.4</td> <td>28.1</td> <td>28.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年8月5日～令和5年1月15日 ※瀬戸内国際芸術祭 2022 夏会期・秋会期にあわせて開催 参加飲食店：県内の飲食店延べ196店</p> <p>開催実績：12回 出店者：延べ413店(34店/回) 来場者数：43,932人(3,661人/回)</p> <p>講座開催数：26校26回実施</p> <p>「さぬきダイニング」：25店舗</p> <p>年明けうどん提供店：139店 スタンプラリー参加店：112店 給食用メニュー提供校：189校（小・中）</p> <p>中華ちまき販売数：1,903個 さぬきの和ちまき販売数：1,051個 さぬきのかしわ餅販売数：8,587個 恵方巻販売数：4,982本 さぬき恵方ロール販売数：2,681本</p>	基準値 （R2）	実績値 （R4）	目標値 （R7）	24.4	28.1	28.8
基準値 （R2）	実績値 （R4）	目標値 （R7）					
24.4	28.1	28.8					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>伝統的工芸品等販路拡大事業（7-4-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 地場産品・伝統的工芸品等の関係団体と緊密に連携し、首都圏などの大消費地や海外市場をターゲットに、様々なプロモーションによる積極的な情報発信を展開するとともに、販路拡大に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 小売店対策（11,089千円） 地場産品・伝統的工芸品の認知度向上及び販路拡大を図るため、常時取引が可能で、情報発信力に優れたセレクトショップ等と連携し、首都圏店舗やオンラインショップでのフェアの開催や、新商品を開発するとともに、フェア終了後の継続販売につなげた。</p> <p>(2) 新商流確保（1,598千円） オランダの国際園芸博覧会において、黒松盆栽等の展示やデモンストレーションを実施し、現地消費者の認知度向上を図った。また、ジェトロ香川と連携し、オランダとスペインの盆栽バイヤーを招聘して商談会及び意見交換を実施し、約500本の輸出につなげた。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県産品の国内販売額（県サポート実績）（再掲）（千円）</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1410 515"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,004,239</td> <td>1,948,601</td> <td>2,364,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>県産品の海外販売額（県サポート実績）（再掲）（千円）</p> <table border="1" data-bbox="943 636 1410 797"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>290,491</td> <td>460,843</td> <td>465,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>首都圏店舗での「香川県フェア」の開催 開催箇所：2か所 開催日数：延べ46日※店休日除く 出展事業者数：延べ27事業者</p> <p>オンラインショップでの「香川県フェア」の開催 開催箇所：1か所 開催期間：11月～1月 出展事業者数：8事業者</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	2,004,239	1,948,601	2,364,000	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	290,491	460,843	465,000
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
2,004,239	1,948,601	2,364,000											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
290,491	460,843	465,000											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>全国年明けうどん大会開催事業（7-4-7）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>「年明けうどん」のより一層の普及と、香川を代表する「食」であるうどんを切り口に、本県のブランド力の向上を図るため、全国のご当地うどんを集めたうどんイベントを開催した。令和4年度は、令和2、3年度に引き続き、感染防止対策を徹底した上で「新しい生活様式で新年の幸せを願う～全国年明けうどん大会2022inさぬき」と題して、事前予約による完全入れ替え制として開催した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 全国年明けうどん大会開催事業（32,309千円）</p> <p>北海道から高知までの19都道府県から22店舗のうどん店が出展し、ご当地うどん・年明けうどんが販売されたほか、YouTubeのライブ配信を活用した年明けうどんのPRや、「年明けうどん川柳」の発表などにより、香川の食文化である「年明けうどん」を全国に向けて発信した。</p>	<p>開催実績：</p> <p>令和4年12月3日（土）～4日（日）</p> <p>延べ来場者数</p> <p>令和2年度実績：2,708人</p> <p>令和3年度実績：5,913人</p> <p>令和4年度実績：5,985人</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>香川県産品アンテナショップ機能強化事業（7-4-8）</p> <p>1. 趣旨・概要 「かがわ物産館・栗林庵」、「香川・愛媛せとうち旬彩館」を拠点に、県産品の効果的な情報発信や魅力ある県産品の掘り起こし、消費者の反応のフィードバック等による売れる商品づくりの支援等を通じて、県産品のブランド化と県内外へのより一層の販路拡大を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 香川県産品アンテナショップ機能強化事業 (14,793千円) 栗林庵や旬彩館で、県産品フェアやイベント等を開催したほか、県内事業者が栗林庵で実施するワークショップや旬彩館で実施する販売促進活動を支援することなどにより、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。</p>	<p>3. 指標 アンテナショップの販売額（物販） （再掲） （千円）</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1422 629"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>260,191</td> <td>420,693</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元 年度428,673 千円)まで速 やかな回復を 図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>栗林庵店舗販売額 令和2年度実績：152,161千円 令和3年度実績：127,907千円 令和4年度実績：257,002千円 (前年度比200.9%)</p> <p>栗林庵オンラインショップ販売額 令和2年度実績：11,960千円 令和3年度実績：21,276千円 令和4年度実績：26,836千円 (前年度比126.1%)</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	260,191	420,693	コロナ影響前 の実績値(R元 年度428,673 千円)まで速 やかな回復を 図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
260,191	420,693	コロナ影響前 の実績値(R元 年度428,673 千円)まで速 やかな回復を 図る					
<p>東京アンテナショップ運営事業（7-4-9）</p> <p>1. 趣旨・概要 愛媛県と共同設置の東京アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」を拠点に、首都圏における県産品のイメージアップや販路拡大、観光情報の発信を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 店舗賃借費（43,695千円） 所在地：東京都港区新橋二丁目19-10 新橋マリンビル1・2階 493.10㎡</p> <p>(2) 管理費等（7,674千円） 両県で組織する運営協議会により、管理運営を行った。 また、首都圏に開設しているアンテナショップが連携して行うイベントへの参加を通じて、より一層の認知度アップを図った。</p>	<p>3. 指標 アンテナショップの販売額（物販） （千円）</p> <table border="1" data-bbox="943 1321 1422 1597"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>260,191</td> <td>420,693</td> <td>コロナ影響前 の実績値(R元 年度428,673 千円)まで速 やかな回復を 図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>せとうち旬彩館販売額 令和2年度実績：96,070千円 令和3年度実績：108,262千円 令和4年度実績：136,855千円 (前年度比126.4%)</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	260,191	420,693	コロナ影響前 の実績値(R元 年度428,673 千円)まで速 やかな回復を 図る
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
260,191	420,693	コロナ影響前 の実績値(R元 年度428,673 千円)まで速 やかな回復を 図る					